

令和4年度京都京北小中学校 学校教育目標

【学校教育目標】

ふるさとの伝統と文化を受け継ぎ、誇りに思い、
自らの志を高め、未来に向けて大いに学び育つ子どもの育成
～なりたい自分とよりよい社会の実現のために～

【付けたい資質・能力】

地域創生力…問題発見・解決能力、情報活用能力、コミュニケーション力、連携性、協調性
主体的に取り組む態度…粘り強さ、レジリエンス、主体性、調整力
社会的包摂をすすめる力…正しい人権感覚、多様な価値を尊重する態度、道徳的実践力

【めざす生徒像】

- 習得した知識・技能を活用し、探究心をもって問題解決に向けて主体的に取り組むことができる生徒
- 確かな学力を身に付け、自己実現に向けて粘り強く努力することができる生徒
- ふるさと京北を愛し、豊かな人間性・市民性・自尊感情を有し、地域創生に働きかけることができる生徒
- 自らの心身の健康を育む意欲をもち、安全や体力の向上に対し、生涯に渡ってそれを実践することができる生徒

【めざす教職員像】

- 生徒達の自己実現のために、学びの質を高める工夫を考え、実践する教職員
- 互いに切磋琢磨しつつ、危機管理を行い、チームで取り組める教職員
- 生徒理解に努め、誰一人として取り残さない指導をする教職員

【めざす学校像】

- 施設一体型の小中一貫教育校の強みを生かす学校
- 生徒達のキャリアアップに働きかけ、望む進路をかなえられる学校
- 京北の伝統的・文化的な環境を活用し、地域と共にある学校
- 社会的包摂をすすめ、自己実現を図れる学校

【学校経営方針】

- 小中の慣例・文化の違いを乗り越え、9年間で生徒に生きる力を育む。
- PDCAサイクルを生かし、重点化して取組を進める。
- ステージ制と前・後期制をハイブリッドに活用し、生徒の活動の充実を図る。
- ワークライフバランスをとって、心身共に健康で活力ある生活を送れるようにする。

【重点目標】

Ⅰ 確かな学力

- ① 主体的・対話的で深い学びに至るよう授業の質を高める。
 - ・専門性を生かす教科担任制の推進(各教科の見方・考え方を働かせる)
 - ・発達段階に合わせた学びの意欲を高める活動や内容の工夫
 - ・「多様なテキストを的確に読み取り考えをもつ」「多様なテキストや個々の考えを関連付けて考える」「学んだことを再構成し表現する」場面の設定
 - ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る
 - ・指導と評価の一体化を図り、効果的効率的な評価活動の実践
 - ・ICT機器の効果的な活用
- ② 基礎的基本的な知識技能の確実な習得を図る。
 - ・日々の授業での「めあて」「まとめ」「ふりかえり」の実施(時間の確保)
 - ・発達段階に合わせた家庭学習の内容と方法の指導を行う
 - ・日々の授業と家庭学習の連動を図る(家庭学習で教科書を開いているのか)
 - ・Kノートの活用(生徒自らが学習・生活について主体的・継続的に管理する)
- ③ 9年間で確かな学力をつける教育課程(京北スタイル)を構築する。(2年計画)
 - ・教科部会での9年間の教育課程の作成
 - ・移行期、実践期の設定
- ④ 京北ふるさと未来科の単元計画の確立と質の向上を図る。
 - ・問題発見・問題解決能力を高める単元計画の作成(螺旋的な探究)
 - ・習得した知識・技能の活用、発達段階にあった情報活用の場面の設定
 - ・他者評価、自己評価する活動の工夫を図る。
- ⑤ 各種調査による学力分析を行い、方策を考え、実践する(PDCAサイクル)。
 - ・全国学力・学習状況調査、確プロ・ジョイプロ・プレジョイプロ、
小学校学力調査(本年度は調査対象校)の分析

2 豊かな心

- ① 学校全体での道徳教育を推進と社会的包摂性の涵養
 - ・道徳科におけるクロスカリキュラムの実施と評価方法の充実
- ② 生徒会活動、行事などによる人間性、市民性の涵養とキャリア教育の推進
 - ・全教職員による生徒会活動、行事等の指導
 - ・生徒が主体となる場面の設定
- ③ 地域の伝統的・文化的な環境を活用した情操教育の推進
 - ・地域を調べたり、GTを活用したりすることによる郷土愛の醸成
 - ・伝統文化体験の計画的な実施(茶道、華道、能楽等)
- ④ 生活規律・学習規律の徹底した指導、モラル教育の推進
 - ・教職員の共通理解
 - ・基本的な生活規律・学習規律の徹底した指導と生徒に考えさせる指導の融合
 - ・情報モラル(GIGA端末の扱い方含む)、ケータイ・スマホ教室の実施

- ⑤ 各種アンケートや教育相談による実態把握と対策の推進
 - ・いじめアンケート, クラまねの実施・分析・対策, 教育相談の実施

3 健やかな体

- ① 自分や周りの人的心と体の健康への関心を高め, 維持向上できるようにする
 - ・ジャンプアッププロジェクト, 体力向上年間計画の作成と実施, 検証による体力向上 (PDCA サイクル)
 - ・食教育の推進 (和食, 京北産の食材の紹介, 地産地消の意義)
 - ・健康診断, 生活アンケートによる実態の把握と個別の指導の実施
 - ・薬物乱用防止教室等の実施
- ② 地域社会との関連を意識し, 安全・地域防災の主体者として活動できる生徒の育成
 - ・危機管理マニュアルの共有と適宜修正
 - ・避難訓練や安全ノートの指導による防災教育の推進
 - ・教職員研修の実施による危機管理意識の向上と危機管理対応への備え